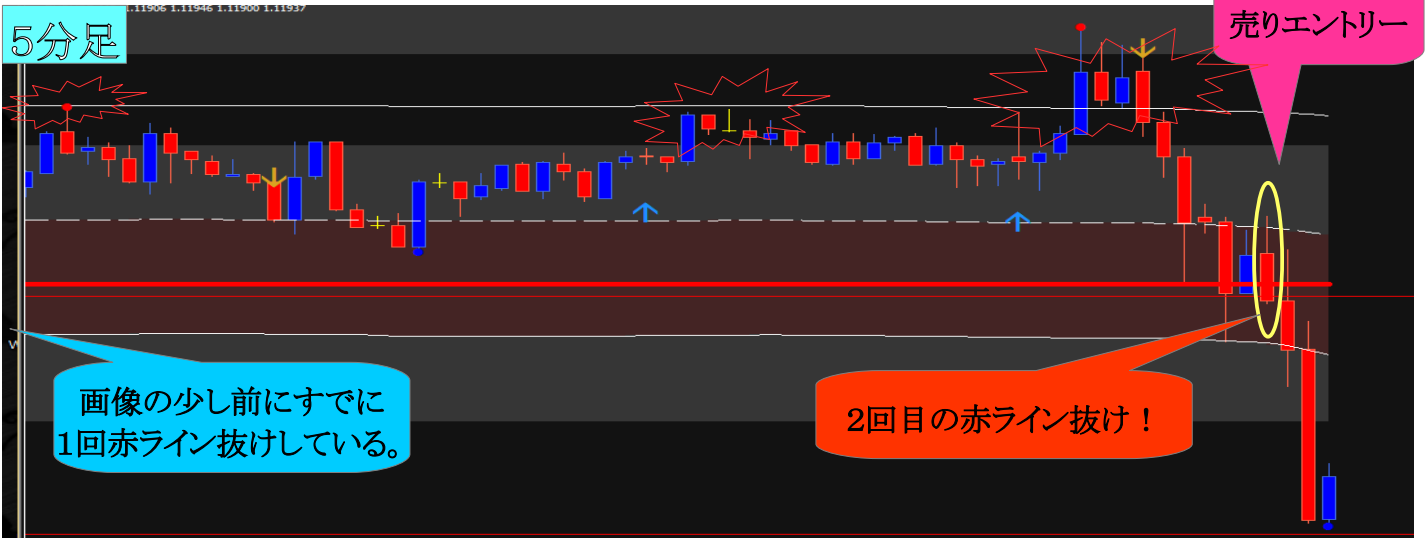


レンジブレイク



※この画像の少し前に、既に赤ラインを1回抜け出しています。よって黄色丸は2回目の抜け出しです。

カラーバンドが赤も青も横ばい(平ら)で市場の皆さんが上昇か下降か迷っている状態です。

安心材料

徐々に頭をおさえつけられている。(今回はミドルラインに頭をおさえつけられている)
 これで下降への安心材料ゲット!(上昇なら底支えが安心材料)
 1回目のライン抜け出し(タッチでもOK)とエントリーポイントの間に押さえつけ(支え)があるのが良い。

未来予測

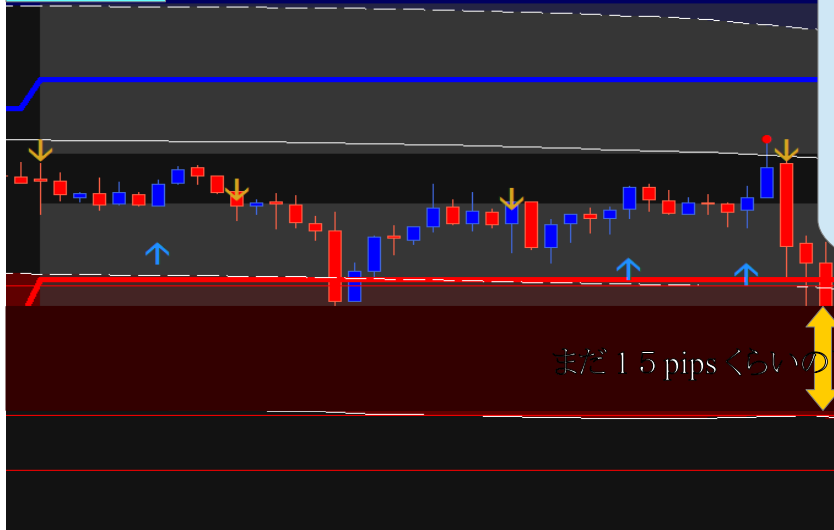
- 15分以上の時間足を順番にチェックして
- ①「下降しやすい位置か」(押し目や戻り目から離れすぎているか)
 - ②「壁はどこか」(各時間足のバンドの内側・外側ミドルラインに横線(抵抗線)を引く。)
 - ③「伸びるスペースは残っているか」(②で引いた一番近い抵抗線までのスペースが残っているか。)
 - ④「支えやおさえが他の足にもあるか」を確認します。

天気予報と潮流確認

重要な経済指標を控えていませんか?
 東京市場(9時~)・欧州市場(16時頃~)・NY市場(21:30頃~)いずれかが活発な時間帯ですか?

安心できそうなら、2回目以降の赤ライン抜けで売りエントリー!! (買いなら青ライン)

15分足



【他の時間足の見方⇒15分足の例】
 その頃、15分足では・・・このあたり。
 赤カラーバンド内側のライン(壁)を突破し、バンドの底までまだ15 pips くらいスペースがあるので、市場の皆さんがバンド底を抜けるか跳ね返されるか確かめるためにまだ下降するだろう・・・





決済のルール



① 重要経済指標の発表前に逃げる。

【例】・世界を揺るがすニュース(大災害, テロ, 米大統領選挙, イギリス EU 離脱) ※超危険
 ・雇用統計 ・FOMC ※かなり危険
 ・要人発言(連銀ダドリーとかイエレンとか日銀総裁黒田バズーカとか) ※危険
 ・GDP ・失業関係 ・ISM ・PMI ・中古住宅 ※結果次第
 (いろいろあるため, GMO クリック証券の経済カレンダーで☆印の5段階評価が記載されているので
 それで重要度を確認するとよい。ISM のように三ツ星程度でも発表内容次第では影響するものもある。)

② いずれかの時間足の抵抗線でしつこく止められていたら逃げる。18:30前後はその傾向が顕著。
※バンド上下線とミドルライン1本1本が抵抗線です。

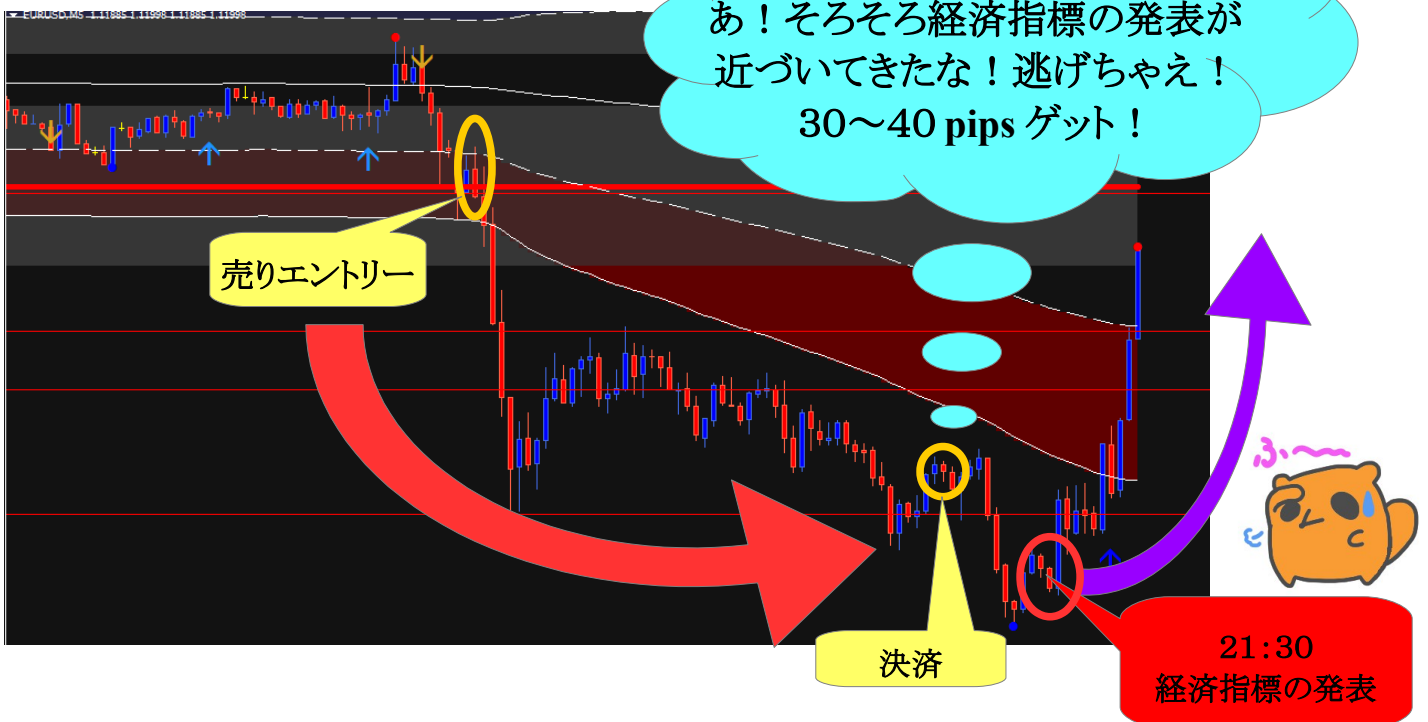
③ 順調に伸び, NY 市場(21:30~2:00)の波に乗ることができた場合は, 翌日まで保有。
翌朝6~7時頃に出現する新たな青ラインと赤ラインのいずれかにタッチした時点で決済。

※攻めの応用・・・タッチではなく, 勢いよく抜けた場合は, 決済せずに抜けたラインに損切を設定し, さらに伸びる可能性を見守る。稀にそのままぐんぐん伸びることがある。

※守りの応用・・・バンドの内側(ミドルライン方向)へロウソクの実体が抜け出してきたら逃げる応用技。
ただし, その動きが実は「下降中の戻り」や「上昇中の押し目」である場合もあり, かって損をすることもあるため判断が難しい。他の時間足の抵抗線を引き直し, 押し目や戻り目が形成される未来のストーリーを組み立てる力が必要。
トータルで勝てばよいだけなので, 守りの応用は読めるなら行う程度でよい。
基本はいずれかのラインタッチ決済でよい。

【例】①経済指標前の決済で成功した例

同じところで止められてるな・・・
 あ！そろそろ経済指標の発表が
 近づいてきたな！逃げちゃえ！
 30~40 pips ゲット！



例外：経済指標レンジブレイク



エントリーポイントはなんと！バンド1回目の抜け出しです。数日の間、レンジ状態で方向感がありませんでした。相場全体が、「動き出しのきっかけを待っている様子」が読み取れます。その動き出しのきっかけが「経済指標」でした。

長いレンジを見つけたら、このようなチャンスを意識してみてください！